

平成 21 年 6 月 10 日

各 位

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

「第 15 回業務監査委員会」の概要

「第 15 回業務監査委員会」の概要につきましては、以下のとおりであります。

今回の委員会では、5 月に公表いたしました平成 20 年度決算ならびに経営健全化計画の履行状況について説明を行い、その後、各委員の方々から忌憚のないご意見を頂戴いたしました。

1. 日時 平成 21 年 6 月 9 日（火） 13:00～14:45

2. 場所 当社本店

3. 出席者

＜業務監査委員会メンバー＞

(五十音順、敬称略)

石川 達 紘	北海道銀行監査役、元名古屋高等検察庁検事長、弁護士、亜細亜大学教授
片 木 進	流通科学大学商学部名誉教授、元日本銀行金沢支店長
佐々木 亮子	有限会社アールズセミナー代表取締役社長、元北海道副知事
丹 羽 昇	富山大学経済学部教授
本田 百合子	公認会計士・税理士・行政書士
河上 敏 嗣	当社常勤監査役

＜当社出席者＞

取締役社長高木繁雄、取締役副社長堰八義博、他常勤取締役 5 名

4. 当社からの説明要旨

- ①平成 20 年度決算の概要について
- ②経営健全化計画の履行状況について

5. 委員からのご提言・ご質問等について (斜体文字は当方からの回答)

＜当社グループの将来展開について＞

●当社グループがより効率的に運営するためには、2 行が持株会社の傘下にある形態から、合併といった選択肢も検討課題ではないか。

→・当社グループの 21 年 3 月期 OHR54.31%は、すでに地銀トップクラスの経営効率となっている。当社グループでは統合形態の検討に際し、顧客に不便・負担を掛けず、両行が各自のブランド力を生かしながら協調して顧客基盤を守る一方、広域ネットワークを活用した営

業力を強化し、一方で顧客に直接関係のない集中業務等の共同化で統合効果を出すほうが、顧客利便にかなっていると考え、持株会社方式の2ブランドを選択した。地域の中で顧客から「自分たちの銀行」として支持されていることが地銀の強みであり、両行が自主性を活かして営業展開するのが適切と考えている。更なる効率化には、平成23年5月の横浜銀行との3行共同システム稼働を足場に、今後も様々な切り口で取り組んでいきたい。

●投資信託販売や住宅ローン取扱の将来性についてどう見ているか。

→・投資信託では、商品説明の難易度は高くなっているが、本部内に営業現場を支援する投信専門のチームを作るなど、説明責任が果たせるよう態勢づくりに努めている。相場環境から販売は低調だが、貯蓄から投資といった大きな資産選好のニーズにはしっかり応えていきたい。保険の販売も比較的好調を維持している。住宅ローンは、リテールの柱として当面伸ばしていきたい。さらに、原点に帰り、家計取引のメイン化を強化していくことで、持続性のある収益基盤を築いていきたいと考えている。

●地域における預金・貸出金の状況はどうか。地域での存在感を高めれば、リレーションシップバンキングの質も高めていける。

→・東京の大手企業からの借入案件もあったが、地元での貸し出しの積上げが基本と考えており、全国緊急保証制度の積極的な取り組みなどにより中小企業貸出は増加している。預金では退職金やボーナス時期のキャンペーン、宝くじ付定期預金などで地域の預金を中心に過度なコストを掛けず積み上がっている。

<地場経済について>

●地域の企業の状況はどうか。

→・製造業では、業種の中で経営体質が弱い会社から影響が出てきている。富山県では大手のOEMによる医薬品が好調だが、コンビニでの薬品販売開始の影響等にも注意を払っている。北海道では観光業が来道者の減少でホテル稼働率が低下している。取引先には従来の周遊型観光から体験型観光への転換の試みなども出ている。

●ビジネスマッチングには、銀行に地域の取引先も期待している。

→・当社グループが地銀のビジネスマッチングの先駆けであり、一過性の取組みでなく継続的な取組みが他行差別化になっており、実績にも結びついている。小さな企業を明日の大企業に育てることが一つの目標である。海外ネットワークを活かした商談会も回数を重ねており、毎年多数の行員を研修派遣し、取引先の海外工場を視察させている。

<人材育成について>

●行員の士気高揚や人材育成をどのように行っていくのか。

→・過去のリストラの影響で人員数にはタイト感があることから、新規採用を積極的に増やすとともに、パート・嘱託社員の行員登用により戦力・モラルの向上を図っている。北海道銀行では、研修センターの新築を機会に、支店長代理の全員に手薄だった管理職研修を実施し、リーダーシップや指導力育成を図ることで、現場の活力向上につなげていく。

以上

お問合せ先

㈱ほくほくフィナンシャルグループ

企画グループ 三宅 (076-423-7331)